

# 日本語教室で 「七夕とスピーチ茶話会」が開かれました

下野かおる（日本語教室部会）

「七夕祭」と「スピーチ茶話会」とを統合したはじめての行事が各曜日の学習会で開かれ、水曜日教室は7月1日に行われました。参加者は学習者16名、日本語ボランティア21名の合計37名が参加しました。始まる前に、学習者によって色とりどりの飾りが結ばれた笹が教室に飾られました。

直前まで学習者もボランティアもスピーチの原稿に見入って緊張気味でした。会が始まり、「たなばたさま」の歌をみんなで歌い、ちょっとリラックスしたようでした。スピーチは、まずボランティアが学習者を紹介、そして学習者がスピーチと願い事を発表、という形で始まりました。

日本語を勉強して間もない学習者も立派に自己紹介をしていました。テーマもさまざまで、自己紹介のほかに好きな食べ物、日本での経験、日本の生活、大学でのプロジェクト

について、日本に来てびっくりしたこと、私の趣味についてなどです。内容も豊富で、自分の経験を楽しくおもしろく語り、また自分の思いを熱く語っていました。普段の学習では学習者同士があまり話す機会もないようで、「お友達になりたい」「お話がしたい」などの話も出ました。みんなのスピーチを聞いてより身近に感じられたのではないのでしょうか。

願い事は「日本語が上手になりますように」「家族が幸せになりますように」などが多かったようです。最後には願い事を書いた短冊を笹の枝に結んで、そこでそれぞれ記念写真を撮っていました。学習者同士話をしている様子も見られました。参加者全員で集合写真を撮り終了しました。記念に自分の願い事と飾りのついた笹を切って、大勢の学習者が持ち帰りました。和やかな雰囲気会で会を出来たことはとてもよかったですと思います。



七夕とスピーチ茶話会水曜教室に参加のみなさん